

世界遺産 熊野古道

この他にも熊野古道は、熊野三山へ続いております。

ワヅラト峠

その昔、伊勢の国から紀州の国への国境。峠からみる熊野灘は聖地の景観があったと伝えられる。

所要時間 約1時間～1時間30分

真越峠

海山から尾鷲市へ。紀州檜の銘木と石畳の中を行く。

江戸時代、紀州藩によって整備された石畳は、東紀州の熊野古道を象徴している。 所要時間 約2時間

八鬼山

「八木山はに四国一の難所」と伝えられた。尾鷲市から三木里へでる峠越え。

大雨から、街道を守る為の石畳、厳しい峠越えの安全を祈っての町石や荒神堂が立てられているいる。

健脚向コース 所要時間 約4～5時間

☆大内山動物園

身近なものからめずらしいものまで、たくさんの動物たちがいます。

① 頭の宮四方神社（大内山）

桓武天皇の末裔、唐橋中将光盛卿を祭る。

唐子川原の丸石に願い事を書いて、お供えするとかなえられると言う。

就職、受験のシーズンになると親子連れの参詣でにぎわう。

② ふれあい牧場（大内山）

牧場では、乳しぼりやバター作り体験学習ができます。

(予約制 バター作り体験 有料)

③ 滝原宮（大紀町滝原）

樹齢数百年の杉の自然林が鬱蒼と生い茂る山中に、滝原本宮、並宮が鎮座する。司馬遼太郎 著の「この国のかたち」の中に十世紀初頭の「延喜式」にすでにこの滝原宮のことが示されていることが書かれている。

④ 五桂池（多気町）

自然環境を生かした五桂池ふるさと村はサイクリング、釣り、テニス、陶芸教室などが楽しめる。中でも、人気はかわいい動物の仲間たちの動物園と年中通して楽しめる観光農園。

☆伊勢神宮（伊勢市）

「お伊勢さん」と呼ばれ、親しまれている伊勢神宮。

正式には「神宮」といい、内宮、外宮を中心におはらい町おかげ横丁に代表される前門町が開け今も昔もお伊勢参りの雰囲気を感じることができる。

⑤ 伊勢・安土桃山文化村（二見町）

約10万坪の敷地に安土城を中心とした戦国時代の風俗を再現した歴史テーマパーク。

戦国時代をイメージするイベント館と、楽市楽座に軒を連ねる茶屋、民芸品店が多数あり、タイムスリップが楽しめる。

⑥ 二見プラザ（二見町）

二見は、夫婦岩と日の出の名所として有名。

R167を鳥羽方面へ抜ければすぐに海に面したレジャーランドがみえる。

1Fにはショッピングモール、2Fにはシーフードレストランもある。

⑦ ミキモト真珠島（鳥羽）

真珠玉といわれる御木本幸吉が世界で初めて真珠の養殖に成功した島で、今ではパールアイランドの名で知られている。

⑧ 鳥羽水族館（鳥羽）

種類、点数とも世界屈指の規模を誇る水族館。

⑨ 志摩スペイン村（パルケエスパーニャ）

まるでスペインの地を訪れたかのような 異国情緒たっぷりの風景のなかを旅することができ、スペインの自然や街や建物を映した景観をテーマパーク「パルケエスパニャ」に再現している。

⑩ 大王崎燈台（大王崎）

伊勢湾と熊野灘を分ける波切りの燈台、それが大王崎燈台です。

昭和2年に完成し、高さ22.5m、断崖絶壁にたち、眼下の荒波が

白く砕け散る景色が素晴らしい。

⑪ きいながしま古里温泉（紀北町）

泉質がすばらしいと、評判の温泉 大人500円

⑫ 種まき権兵衛の里、魚飛溪（紀北町）

実在した郷土の偉人を讃えて日本庭園と資料館がある。

入場料 大人300円

また近くの山合には数キロにわたって巨岩が自然渓谷形美をつくっている。散策には遊歩道も整備されている。

⑬ 鬼ヶ城（熊野市）

熊野灘の荒波に浸蝕されて生まれた奇勝が鬼が城。巨大な屋根のような岩がかぶさる千畳敷きを中心に鬼の洗濯場、蜂の単窟、飛び渡りなどの奇岩と海蝕洞が続く。

⑭ 熊野速玉大社（新宮市）

鮮やかな朱塗りの社殿は、神倉神社の旧宮から分社したもので新宮社と呼ばれ、国宝、重文の多いことで知られている。

熊野速玉大社を主祭神に天照大神など12神が祭られている。

⑮ 湊峡ジェット船のりば（本宮町）

三重、奈良、和歌山の三重の水を集めて熊野川にそそいでいる。川をさかのぼると高い断崖の名所と清らかな水が作る淵をジェット船が運航。1日に6～8便就航しており、全部“志古”発着（乗船時間2時間）

⑯ 熊野本宮大社（本宮町）

新宮と那智とともに熊野三山と呼ばれ、平安、鎌倉時代には熊野詣での人々で、大変にぎわっている。

新宮速玉大社の社殿とは、好対照を見せている。（見学所要時間30分）

⑰ 川湯温泉・湯の峰温泉（本宮町）

湯の峰川が流れる谷間にあって山深い印象を受ける。ここは、成務天皇の時(131～191)に発見されたという古湯で熊野詣での湯垢離場として栄えた。

⑱ 那智の滝（那智勝浦町）

この滝は、飛滝神社がご身体となっているため、鳥居が建ち、注連縄ははられ、霊場の雰囲気にあふれている。

鳥居前からでも迫力十分だが、社務所横からお滝壺拝所へ行くと更にその眺めは圧巻。

⑲ 青岸渡寺（那智勝浦町）

西国第1番札所として知られている。

昔は、如意輪堂といい、熊野山伏の本拠となっていたが明治の神仏分離で独立、青岸渡寺になった。境内からは那智の滝もよく見える。

(見学所要時間 那智の滝、那智大社も含めて 約1時間)

⑳ 熊野那智大社（那智勝浦町）

両側にみやげ物屋が並ぶ石段を470段登ったところに社殿がある。

右奥に拝殿が建ち、その奥に熊野権現造りの社殿が5棟並んでいる。

第4殿の熊野夫須美大神に14神が祭られている。

㉑ 勝浦温泉（那智勝浦町）

白浜と並んで南紀を代表する温泉。

㉒ くじら浜公園（太地町）

くじらの博物館、捕鯨船、資料館、石垣記念館などがある。

㉓ 落合博満野球記念館（太地町）

日本で唯一のプロ野球個人記念館。

太平洋を見渡す高台に史上初の三回の三冠王を含むあらゆるタイトルの集約やプロ野球選手としての歩みなどをわかりやすく説明し、明日を担う、少年野球選手に夢を見させてくれる。

㉔ 橋杭岩（串本町）

約700mの間に40近くの岩が一直線に並び、ちょうど橋の杭のように、見えるところから橋杭岩と呼ばれている。（見学所要時間20分）

㉕ 潮岬（串本町）

ここが本州最南端の地。黒潮に洗われる岬は空と水平線はるか彼方でとけあって“地球は丸い”思わず叫びたくなる。（見学所要時間1時間）

㉖ 串本海中公園（串本町）

1970年7月、日本で最初に指定された海中公園地区です。

串本の手を再現した「水族館」を中心に、サンゴの海を目の当たりにする事の出来る「海中展望塔」や半潜水型海中観光船「ステラマリス」、本格的なダイビングや体験ダイビング施設「串本ダイビングパーク」、旅の思い出に残るお食事を用意したレストラン「アクロポーラ」など併設する「錆浦研究所」があります。